

TOYOTA MARINE

# Ocean Style

Feb 2019 Vol.8

Proposed  
the Play of Ocean





## 海を“Fun To Drive”

PONAM-31で、アクティブに駆け抜ける。

PONAM-31で、ラグジュアリーにくつろぐ。

そこには、あなたの知らない新しい海の遊びがきっとある。



※写真には撮影用小物、オプションパーツ等を含みます。

# 31

*Sport Utility Cruiser*  
**PONAM-31**

試乗会の開催日などのご案内は、トヨタマリンホームページまたは、フリーダイヤルにてお問い合わせください。

トヨタ自動車株式会社 マリン事業室 トヨタマリン営業所 〒443-0014愛知県蒲郡市海陽町2丁目1番地 ☎0120-532-451 [www.toyota.co.jp/marine/](http://www.toyota.co.jp/marine/)

CONTENTS

04 MESSAGE FROM **TOYOTA MARINE**

06 LEXUS、ブランド初となる  
ラグジュアリーヨット「LY650」を発表



10 **PONAM-28V HYBRID**  
開発者インタビュー



14 自動車販売会社の会長が提案する  
**PONAM-35swの活用法**



18 LUNCH CRUISING in 福岡  
海の中道にあるリゾートホテルへの旅



24 友山副社長も確信した  
**PONAM-28Vの実力**



26 CHALLENGE FISHING in 伊良湖  
親子で楽しむボートフィッシング



30 **MARINA DIVIDE VOL.9** マリーナ探訪  
三河みとマリーナ



32 **PONAM LINE UP** ポーナムラインナップインフォメーション

34 トヨタ認定中古艇「CUB」



巻頭言

ご好評をいただいております「Ocean Style」の第8号を、2019年の新春にお届けできます事を嬉しく思います。

四方を海に囲まれた「海洋国家日本」の各地で、ポーターがお客様の豊かなマリライフのパートナーとしてお供させていただいておりますことに心から感謝申し上げます。

さて、今年の秋には、いよいよレクサスポート「LY650」が、米国で世界初披露されます。その後、2020年春には日本でも、皆さまにもご覧いただける予定です。レクサスポートが提案する驚きと感動の世界にご期待ください。

トヨタマリンは、モビリティ・カンパニーの一員として、クルマで培った技術を活用したトヨタらしい海のモビリティの提供を通じて、皆さまのもとへ「WOW」をお届けしてまいります。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



トヨタ自動車株式会社 マリン事業室 室長 上田 孝彦

# LEXUS、ブランド初となる ラグジュアリーヨット「LY650」を発表

— LEXUSが新たに提案する「海のモビリティ」 —



このプロジェクトは、私が関係者に「海のと真ん中に自らを解放できる隠れ家のような空間をつくれませんか」とリクエストした事でスタートし、その後もマリンメンバーと方向性について議論を繰り返してきました。その為、「LY650」の市販化については、私も大変嬉しく思います。

レクサスはクルマに留まらず、感性を刺激し、驚きと感動の体験を提供する「ラグジュアリー・ライフスタイルブランド」へチャレンジしています。今回のレクサスポートは、その象徴のひとつと考えています。

どうぞご期待ください。



イメージCGのため最終仕様とは異なります。

## LEXUSテイストで ラグジュアリーヨットを具現化

2017年1月に発表され、大きな話題を集めた「LEXUS Sport Yacht Concept」。これに続くかたちで、いよいよ市販艇が登場することになった。これまでLEXUSが自動車で表現し続けてきたデザインフィロソフィーを、65フィートのラグジュアリーヨットに具現化したのが「LY650」だ。全長19.96m、全幅5.72mにもなる船体には3つの客室が備えられており、最大定員は15名となっている。エンジンは「Volvo Penta IPS 1350/1200」を使用しており、1000馬力もしくは900馬力の力強い走りを可能にしている。「LY650」の船体は船首から船尾に至るまで立体的なフォルムで、優美な曲線の美しさが追求されている。また、クーペを思わせるルーフラインや、リヤの豊かなボリュームで躍動感のあるスタイリングを実現している。

「LY650」の発表にあたり、トヨタ自動車副社長の友山茂樹氏は「夢のような時間を提供し、お客様のライフスタイルを広げたいとの思いで開発してきました。LEXUS Sport Yacht Conceptから約2年を経て、モビリティの可能性を海にも広げるLY650を発表できることを嬉しく思います。」とコメントを発表。一方、Lexus International President 澤良宏氏は「LY650は、LEXUSの『クルマに留まらない驚きと感動の提供』に向けた挑戦の象徴です。LEXUSはこれからも皆様のライフスタイルを更に豊かにするための挑戦を続けてまいります。」と語っている。東京オリンピックが翌年に迫るなか、また一つ、LEXUSブランドから、絶大なインパクトを持つ新たな「モビリティ」が誕生する。



「LY650」は「LEXUS Sport Yacht Concept」同様、レクサスのデザインフィロソフィーを見事に具現化している。ラグジュアリーな空間が演出されたサロンは有名ホテルのスイートルームのような上質な空間に仕上げられており、大型のウィンドウは自然光を存分に取り入れている。また、船内は十分な広さを確保しており、効果的に配置されたインテリアが、「LY650」の機能性を最大限まで高めている。これだけのクオリティが備わっていれば、きっとオーナーやゲストを毎回非日常の空間へと誘ってくれそうだ。最大定員は15名となっており、マスターステートルームをはじめとした3つの客室を完備しているため、マリナスティやロングクルージングにも十分対応してくれる居住性があると言えそうだ。「LY650」はCGの段階で既にこれだけのインパクトを世界中に与えており、世界初公開の瞬間には世界中のボートファン達を大いに驚かせてくれるに違いない。

### LY650主要諸元

全長 [m]: 19.96

全幅 [m]: 5.72

最大人数 [人]: 15

エンジン: Volvo Penta IPS 1350/1200

燃料タンク容量 [L]: 3,800

清水タンク容量 [L]: 850

客室数 [部屋]: 3 (ベッド6名対応)



イメージCGのため最終仕様とは異なります。

国内初となるハイブリッドボートの開発に成功

# PONAM-28V HYBRID 開発者インタビュー

トヨタはパラレル式プラグインハイブリッドシステムを搭載したプレジャーボートを国内で初めて開発に成功した。まだ市販モデルとまではいかないが、現在は東京都港湾局に無償で貸与されており、提供された運航データを活用することで、ハイブリッドボートの利便性及び改善点を検証する予定だ。今回は開発に携わったトヨタ自動車の幾見氏と牧野氏にお話を伺い、「PONAM-28V HYBRID」開発までの道のりを語ってもらった。



トヨタ自動車の本社で行われたインタビューでは「PONAM-28V HYBRID」の開発を担当した幾見氏(左)と牧野氏(右)が分かりやすく、時折ユーモアを交えながら、開発ストーリーを語ってくれた。



トヨタ自動車 マリン事業室  
マリンユニットグループ  
プロフェッショナル・パートナー

幾見 泰正 氏

クルマがやってきた技術をボートに応用するのはトヨタの義務でもあると思います。



トヨタ自動車 マリン事業室  
マリンユニットグループ主幹

牧野 博信 氏

クリーンな低速から、エンジン全開の高速まで、シームレスにモーター駆動からエンジン駆動に切り替わります。

はじめに、ハイブリッドボートを開発しようと思ったきっかけを教えてください。

幾見氏…「2009年に国交省海事局の方が、日本の船舶産業の振興について、環境を考えた取り組みを検討しており、トヨタのハイブリッド車についてヒアリングにいられました。トヨタとしても以前からハイブリッド技術の船舶への応用は検討をしていたので、国が考えているなら、トヨタとしても進めてみようとなったのが開発のきっかけです。」

開発にあたり、最初にどんなことを行なったのでしょうか？

幾見氏…「クルマ用のハイブリッド技術をマリンへ転用することで、環境改善と技術訴求を実現できると感じ、技術部のHV担当部署へ相談に行きました。そして、ボート用に使えるHVモーターの選定から始めました。」

開発を進めるなかで、最も苦労したことは何でしょうか？

牧野氏…「車に比べると船の走行抵抗(必要エネルギー)は大きいので、車で使われていたニッケル水素バッテリーから容量の大きなLiイオンバッテリーに替えようとしたのですが、当時はLiイオンバッテリーを船に乗せるための

ルールがなかったので、バッテリーの安全マニュアルを作る必要がありました。JCIと調整を重ねるなかで、日々ガイドラインを更新しつつ、並行してボートの開発も行わなければならなかったため、この点はとても大変な作業でした。また、小型船舶の使用電圧のルールは最大250Vですが、HV用の駆動モーターの定格電圧は約300Vだったので、モーター、電池、インバータといった電気部品などは大型船の検査ルール対応を求められました。トヨタとしてはこうした部品全てが検査ルールに対応していることを証明していく必要があり、この作業もとても苦労した点ですね。」

開発担当者として、最もこだわった部分を教えてください。

牧野氏…「東京都へ貸与するボートは量産のPONAM-28Vがベースになっているので、その外観を変更せずに、モーターとLiイオンバッテリーを工夫して搭載し、成立させた部分です。形を変えてしまえばもう少し簡単なのでしょうが、既存のスマートなスタイルは崩さ

ず、求められる機能を搭載した上で、JCI(日本小型船舶検査機構)の検査にも通過できるようにしました。」

開発担当者として、特に伝えたい機能は何でしょうか？

牧野氏…「注目して欲しいのはやはり、プリウスのように誰もが簡単に使えるパラレルHVシステムを搭載している点です。クリーンな低速から、エンジン全開の高速まで、シームレスにモーター駆動からエンジン駆動に切り替わります。駆動モードを切り替えるために一度エンジンを止める必要もありません。また、モーター駆動時にバッテリーが減れば自動でエンジンが起動して充電走行にもなるので、充電量を気にせずに使うこともできます。更にはマリーナなどの陸電からの充電にも対応しているので、プリウスのプラグインタイプのような充電方式も可能です。他にもオール電動1軸TVASではスラスターの回転数を制御できるようになったので、とても静かな音で定点保持ができるようになっています。」

プロジェクト開始から完成まで、期間はどのくらいでしたか？

幾見氏…「先行検討から約6年かかりました。今回の東京都向けの船は耐久・評価艇を含め、約1年半で完成しています。」

東京オリンピックを含めどんな利用方法が期待されていますか？

牧野氏…「港湾局の業務はもちろん、国内外の賓客やオリンピック関係者の競技会場の視察にも利用されています。また、見学会などの機会においては一般市民の皆様にも乗って頂いているそうです。」

ハイブリッド艇の次なるステップとして、完全EVボートやFCボートなどの開発予定はありますか？

牧野氏…「今回のハイブリッド艇の反響や東京都との実証実験の結果を考慮しながら、世界のニーズを予測し、皆様の期待に応えられ

る電動化ユニットや電動船作りをしていきたいと思っています。」

幾見氏…「こうしたトヨタの活動を通じて、ハイブリッド艇の市場が拡大されるのを待つのではなく、作っていかねばいけないと思っています。今世界規模で温室効果ガスの削減などに取り組むなかで、環境対応に関して、クルマがやってきた技術をボートに応用するのはトヨタの義務でもあると思います。」

将来的に既存モデルへのハイブリッドシステムの搭載やニューモデルへ搭載する可能性はありますか？

牧野氏…「今回のボートは実証実験艇となっているので、市販化の予定はありませんが、今後、市場やニーズの変化に応じて、要望があれば検討したいと考えています。」



「PONAM-28V HYBRID」は外観のスタイルは市販モデルと変わらない。スタイリッシュな外観デザインを崩さずにハイブリッド仕様に仕上がっている。

P O N A M - 2 8 V H Y B R I D

# PONAM-28V HYBRID

- 全長 9.14m
- 全幅 3.16m
- エンジン TOYOTA M1KD-VH  
最高出力 260PS
- モーター・ジェネレーター  
最高出力 36kW  
最大トルク 350Nm
- 駆動用バッテリー  
電圧 304V  
容量 40Ah  
総電力 12kWh  
充電時間 1.5h  
(HV充電走行)



## クルマ同様に「モーター」「エンジン」「ハイブリッド」 駆動を自動で切替、静粛性抜群のモーター走行時には ゼロエミッションを実現

### ▶国内初のハイブリッドボート

今回開発された「PONAM-28V HYBRID」は国内初となるパラレル式プラグインハイブリッドシステムを搭載しており、市販モデルの「PONAM-28V」をベースとして開発されている。ハイブリッドシステム搭載にあたってはエンジンを30cm程前に移動させ、ドライブの間にモーター・ジェネレーターを配置しており、従来のイキスペースには駆動用Liイオンバッテリーを収納している。そのため、外観は市販艇の「PONAM-28V」と変わりはなく、流線型の美しいデザインを基調としたスタイルを維持している。開発にあたっては長年トヨタが培ってきたハイブリッド技術をマリンにも転用しており、それに伴い自動車用HV部品も多く活用されている。エンジンと同軸となるモーターには商用車用ハイブリッドモーターを採用しており、油圧クラッチによるパラレル利用が可能で、モーター走行、エンジン走行、ハイブリッド走行の3つの駆動をシームレスに切り替えてくれる。こうした部分はクルマ造りのノウハウを持つトヨタならではの強みが活かされていると言えるだろう。



1.エンジンは市販艇と同じM1KD-VH。ドライブとの間に油圧クラッチ付きのモーター・ジェネレーター（青い部分）を搭載している。 2.従来モデルのイキスペースにはLiイオンバッテリーを搭載している。



3.抜群の静粛性を実現したオール電動1軸TVASを操作するコントローラー。 4.ヘルムステーションも市販モデルと比較しても見た目には大きな違いはない。 5.スタートボタンはプリウスと同じものが採用されており、トヨタの遊び心を感じる。下には駆動モードを変更するスイッチが設けられている。

### ▶オール電動1軸TVAS

ハイブリッドシステムに最適化されたオール電動1軸TVAS(トヨタバーチャルアンカーシステム)はバウスラスターの直流モーターが交流化されたことで、状況に応じて回転数を調整することが可能となった。これにより、低回転でも利用できるようになり、静粛性の高い定点保持を実現したのである。また、走行中にバッテリー充電量が低下すると、自動でエンジンを起動して充電走行も行えるため、走行中であれば電池残量を心配する必要もない。陸電からのプラグイン充電(200V)も可能なので、汎用性の向上、充電コスト低減も実現されている。



キャビン内のレストルームを取り、ベンチソファに改造したことで、より多くの人がキャビンで座ることができるようになった。また、テーブルにはHV PCモニターを設置している。



### ▶ハイブリッド艇の持つ可能性

「PONAM-28V HYBRID」は現時点では量産化の予定はなく、2021年3月まで東京都港湾局に無償で貸与される予定となっている。この期間に得られた実証実験のデータはトヨタに提供されるため、トヨタとしては更なる技術開発や環境技術の向上に繋げていきたい模様だ。世界でもまだハイブリッド艇の普及は進んではないが、こうした活動を元に関後トヨタが市場のニーズや動向を加味した上で、量産艇タイプのハイブリッド艇や、完全EVボート、FCボートといった環境に配慮したモデルの開発にチャレンジする未来はきっとそう遠くはないだろうと思う。

画像提供: 株式会社パーフェクトボート

# 自動車販売会社の会長が提案する PONAM-35swの活用法

PONAM-35sw



神戸トヨペット株式会社 代表取締役 会長  
**西村 太一 氏**

兵庫エリアを中心にトヨタ・レクサスの新車販売はもちろん、中古車販売、自動車整備などを手掛ける「神戸トヨペット」は関西圏でも屈指の規模を誇るディーラーとして親しまれている。

そんな企業を長年牽引し、現在も代表取締役会長を務める西村太一氏に、自身のマリンライフやクルマの販売会社だからできるポーナムの活用方法をお聞きした。顧客満足度の向上を目指す上で、どのように最新型クルーザーを活用しているのか。日々面白いアイデアを考え続ける西村会長にお話を伺った。



港内ではオリエンタルホテルをはじめ、ポートタワーや海洋博物館など、特徴的な形をした建物を海上から見学することができる。

## マリンレジャーに触れることになった きっかけを教えてください。

西村会長…「ある時、トヨタがマリン事業をはじめるといった話を聞いたので、当社含め和歌山、大阪、徳島といった大阪湾を囲むエリアにある自動車販売会社の社長達で、勉強のためにヨットでも買おうかという話になりました。それまで、私自身はマリンスポーツには縁がありませんでしたが、せっかくの機会なのでこの話に賛同し、フランス製のベネトゥ社のヨットを買いました。当時は気心の知れた仲間を集め、そのヨットでクルージングを楽しんでいました。これが1番初めのきっかけだと思います。」

◀P.14 Photo:  
ホームポートの「芦屋マリーナ」にて、昨年8月に社有艇として導入したPONAM-35swの魅力や活用方について語って頂いた。

## 今回なぜPONAM-35swを 購入されたのでしょうか？

西村会長…「レクサス車両の販売が始まって以降、当社にも新たな層のお客様がお越しになられるようになりました。それに伴い当社ではPONAM-28GIIを購入し、レクサスのお客様をポートにご招待し、神戸港一周などのクルージング企画を行ってまいりました。また、こうした活動を行うなかで、会社の福利厚生の一環として、社員の皆さんにもボートに乗って頂いておりましたが、大切なお客様や小さなお子様が乗るのに、もっと大きなボートの方がよりリラックスして乗ってもらえるのではないかなと思うようになりました。そうした中で、ある日PONAM-35のカatalogを拝見させて頂きましたところ、横から見たときの曲線的な窓のラインをはじめ、美しいフォルムと優雅な内装を見て、すぐにコレだと決断しました。限定で2隻だけ造るということでしたので、すぐに1隻押さえてもらいました。」



見所が凝縮された神戸港に入ると、専務取締役の西村公志氏とともに記念撮影。



ポーナムを使った「おもてなし術」について、西村会長は様々な実用例やプランを用いて、分かりやすく説明してくれた。



芦屋バイコート倶楽部の前で、優雅に浮かぶPONAM-35sw。美しいフォルムが煌びやかな光に彩られた景観と見事に調和している。

### 今後どのような利用方法を検討されていますか？

西村会長…「社内の福利厚生として、コンテスト入賞者の皆さんをポートに招待し、芦屋～淡路島まで泊まりのクルージングを企画したいなと思っています。また、私どもの関連会社の鳥取トヨペットでも、コンテストで入賞した皆さんをポートにご招待し、神戸港クルーズなどのイベントを楽しんでもらう企画も面白いなと考えています。」

### PONAM-35swで行ってみたい場所がありますか？

西村会長…「時間のある時にのんびり淡路島まで泊まりのクルージングに行ってみたくですね。淡路島は芦屋からも比較的近い位置にありますので、クルージング先としてもお勧めです。もし、日帰りなら洲本ヘランチクルーズに行って、そこで皆さんと昼食を食べて、帰ってくるのも楽しいと思います。」

### トヨタマリンに今後どんなことを期待していますか？

西村会長…「トヨタマリンさんも日々新しいポートを開発されているので、今より大きくて、性能の良いポートが出たらまた欲しくなるかもしれませんね。トヨタマリンのポートは乗っていて本当に楽しいので、これからも「乗って楽しいポート」を開発し続けてほしいと思います。また、全国各地のトヨタディーラーとも連携して、マリンのイベント開催や当社のような得意先を招待する試乗会などの開催提案をしても面白いのではないかと思います。そうすることで、やっぱりトヨタの販売店は他社とは違うなど、お客様にも購入後に満足感を感じて頂けるのではないのでしょうか。」

西村専務と目的地を話しながら大阪湾をクルージング。当日は波も無く絶好のクルージング日和であった。



自らステアリングを握り操船を楽しむ西村会長。アルミハルを採用したPONAM-35swの乗り味を絶賛していた。

PONAM-35sw

### PONAM-35swはいつ頃購入されましたか？

西村会長…「納艇は2018年8月の終わりでした。当社でレクサスのお客様をお招きして、神戸港一周クルーズを行うイベントを企画しておりましたので、なんとかそこに間に合うようにとリクエストしたところ、しっかりとイベントに間に合うようポートを納めて頂きました。」

### 内装はいかがですか？

西村会長…「高級感があって非常に良いですね。これなら大切なお客様にも喜んで頂けると思いました。この内装なら、自信を持って当社のお客様をポートまでお招きできると思います。」



洗練された空間が演出されたサロンは静粛性も高く、ゆったりと寛ぎながら会話を楽しめる。

### 実際乗ってみて、乗り心地はいかがですか？

西村会長…「乗り心地は素晴らしいですね。アルミハルは振動も少ないので、多少波があっても安心感があります。やはり35ftあると、乗っていても本当に楽ですよ。このポートにはジャイロも付いているので、横揺れも最小限に留められていて、安定性は抜群だと思います。他にもTVASの定点保持やジョイスティックの利便性にも非常に満足しています。」

### 特に気に入っているのはどんな部分ですか？

西村会長…「やっぱりこのラグジュアリーな内装です。他にもアルミハルの安定感ある走行性能やフライブリッジからの見晴らしの良い眺めも良いですね。この3つは私が特に気に入っているポイントです。」



このポートはジャイロを装備しているため、横揺れもかなり低減されている。横波に当たっても嫌な揺れ方をしないので、サロンは終始とても快適だった。



フライブリッジから顔を出し、アフトデッキに向けて釣果を確認。しばし釣りの話をしながら、笑顔で顔を見合わせる。

# PROPOSAL FOR URBAN CRUISE

## 海の中道にあるリゾートホテルへの旅



玄界灘に面した博多湾では福岡ヤフオク!ドームや福岡タワーといった観光名所はもちろん、福岡市内の高層ビルやタワーマンションを海上から眺めることができる。青い海に都会的な景色が混じる美しい眺めは大切な人や仲間と共有したくなる光景だ。そんな博多湾に面した海の中道エリアに、ラグジュアリーなリゾートホテルがあるのはご存知だろうか。非日常を強く意識させてくれるそのホテルの名前は「ザ・ルイガンズ。スパ & リゾート」。ハイクラスなランチを求めて、PONAM-31でアーバンクルーズに出発した。

PONAM-31から眺める対岸には福岡ヤフオク!ドームや今やランドマークとも言える福岡タワーを見ることができた。

### 西福岡マリーナマリノア

クルージングの出発地点となったのは福岡県西区にある西福岡マリーナマリノア。博多湾に面したマリーナは九州エリアでも屈指の規模を誇り、ここを拠点にすれば博多湾周遊クルーズはもちろん、シーバス、真鯛、青物といった釣りも気軽に楽しめそうだ。また、ボート販売実績も多く、ビギナーから上級者までマリネジャーをしっかりとサポートしてくれる頼りになる存在でもある。今回はこのスタッフの大石さんに博多湾を案内してもらいながら、目的地となる「ザ・ルイガンズ。スパ & リゾート」を目指した。

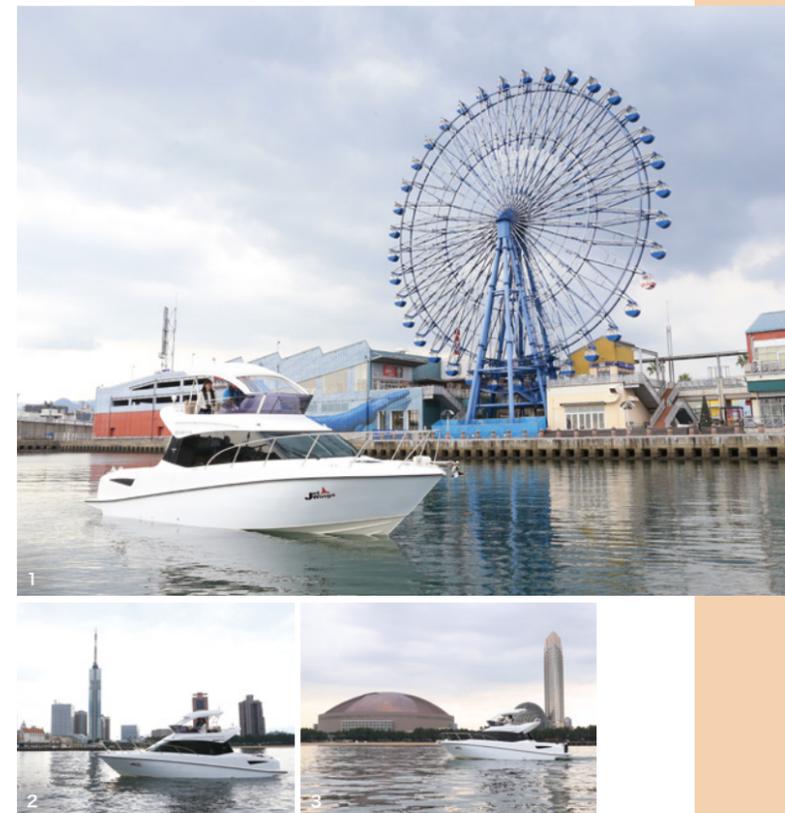
1. 今回の出発地点となる西福岡マリーナマリノアは九州エリアでも屈指の規模を誇るマリーナだ。
2. 桟橋に係留されたPONAM-31に乗り込みクルージングスタート。



### 見所満載の博多湾

出航準備を整えると、PONAM-31が桟橋を離れマリーナ内を進んで行く。ふと気付くと隣接する九州最大級のアウトレットモール「マリノアシティ福岡」の観覧車の前に来ていた。少しの間、観覧車や施設を海上から見学し、その後、マリーナを出航する。マリーナを出て20分ほどボートを進めると、PONAM-31は福岡タワー沖に到着した。ここからの眺めは非常に贅沢で、一度ボートを止めて、のんびりと景色を楽しむことにした。船上からは福岡タワーや福岡ヤフオク!ドームなど、迫力ある景色を見ることができた。海に浮かびながらこうした絶景を見るだけでも、簡単に非日常を味わうことができるのだ。

1. マリーナの隣には九州最大級のアウトレット「マリノアシティ福岡」がある。
2. 福岡タワーの全長は234m。海浜タワーとしては日本一の高さだ。
3. 福岡ヤフオク!ドームは野球だけでなく、コンサートや展示会の会場としても利用されており、日本で初めて開閉式の屋根を採用している。



### 海の中道マリーナ

博多湾を周遊した後はボート係留地となる、海の中道マリーナを目指す。今回クルージングパートナーに選んだPONAM-31はアルミハルを採用しており、凌波性も抜群に良い。航行時の振動も最小限に抑えてくれるので、乗っていて本当に快適なボートだった。マリーナは景色を楽しんだ福岡タワー沖合から約30分、市内中心部からも車で約20分の好立地だ。国立公園にもなっている「海の中道海浜公園」内にあるため、近隣にはホテルや水族館、全18面のテニスコートなど、レジャー施設も充実している。「ザ・ルイガンズ。スパ & リゾート」に行く際はマリーナ桟橋にボートを係留し、受付を済ませれば、クラブハウスから3分も歩けば到着できる。



4. 係留場所となった海の中道マリーナ。
5. トーイングや釣りのポイントまでは約5分とマリンスポーツの拠点として恵まれたロケーションに位置している。



夏にはプールサイドにデッキチェアが並び、南国リゾートのような光景が広がる。



本格的な会席料理を全席カウンターの和テイストな空間で提供してくれる。

## 優雅な時間を愉しむ

ホテルに到着すると、日本語と英語を流暢に操るバイリンガルなスタッフが暖かみのある笑顔で迎えてくれた。館内は落ち着いた雰囲気、ボートで簡単にアクセスできると思えないくらい非日常の空間が演出されていた。客室は全てオーシャンビューになっており、ホテルと海の間に隔てるものは何もない。カーテンを開けると視界には博多湾が広がり、部屋からの眺めも最高だ。下を見降ろすとパームツリーに囲まれた紺碧のガーデンプールがあり、南国リゾートのような寛げる空間が用意されている。また、女性達からも圧倒的な人気を誇るスパエリアでは半世紀以上の歴史をもつスパブランド「YON-KA(ヨンカ)」を採用しており、肌質、肌の状態、季節などに応じて、最適なトリートメントメニューを提案してくれる。この部屋に大切な女性を招待すれば、きっと心身ともにリラックスしてくれるはずだ。



1.ロビーラウンジには一日中穏やかな時間が流れている。2.グランドデラックスツインは44㎡の広さで、部屋からは博多湾を一望できる。3.「ザ・ルイガンズ。スパ & リゾート」は今年1月から4月下旬にかけて、大規模な改装工事中。リニューアルオープンは今年4月末を予定しており、期間中は客室の内装変更や大浴場の新設が行われる。4.海が見えるスパエリアでは自分に合った最適なプランをカスタマイズしてくれる。

## 日本料理 玄海

ホテルには3つのレストランがあり、それぞれが趣向を凝らしたハイクラスな料理を楽しませてくれる。まず、ご紹介するのが新鮮な地元食材を使った和食レストラン「日本料理 玄海」。ここは玄界灘で獲れた魚介類を中心とした旬の素材を熟練の技でひとつひとつ丁寧に会席料理に仕立ててくれる。人気メニューの一つ「玄海御膳」は旬の刺身五種と職人が揚げるサクサクの天麩羅を贅沢にまとめた内容で構成されている。新鮮な魚介類や本格的な会席料理を食べるなら、ここをお勧めしたい。



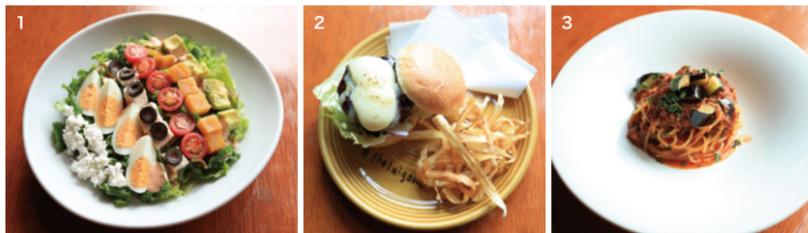
5.刺身盛り合わせは彩り豊かに盛り付けられ、どれを食べても新鮮で、地元で獲れた海の幸を堪能できる。  
6.職人が丁寧に揚げる天麩羅は海老の旨味がサクサクの衣に閉じ込められている。



お洒落な空間には自然光もたっぷり入り、明るい雰囲気ですランチを楽しめる。

### ザ・ラウンジオンザウォーター

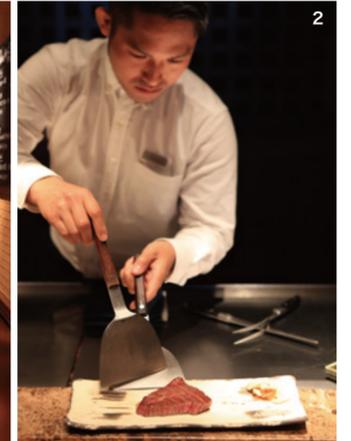
目の前に紺碧のプールと緑の芝生のガーデンが広がるメインダイニング「ザ・ラウンジオンザウォーター」は朝食から本格的なコースディナーまで幅広く楽しめ、昼は降り注ぐ太陽光を感じながら、開放感たっぷりのランチタイムに、夜は美しい夜景を見渡せる幻想的なディナータイムを過ごすことができる。ランチはシーズンごとに異なるテーマで開催され、撮影時は畑の伝道師として、六本木などで自慢の野菜を使ったカフェ&レストラン『ミスターファーマー』を展開する渡邊明氏がお勧めする「ファーマーズランチ」を提案していた。「ファーマーズランチ」のお勧めは「グリーンランチ」で、4種類の中から選択するサラダは野菜の鮮度の良さを実感できる一品となっており、サラダの他にもライトミールとして、秋茄子と牛肉のポロネーゼスパゲッティやヘルシーなヴィーガンバーガーを味わえる。ここは時間帯によって雰囲気が変わるため、何度来てもその時間帯ごとに演出された雰囲気を楽しむことができる。



1.グリーンランチは4種類の色鮮やかなサラダの中から好きなもの一つ選ぶことができる。2.ヴィーガンバーガーはパテにお肉を使わず、動物性食材を一切使用していない。3.秋茄子と牛肉のポロネーゼスパゲッティは秋茄子と牛肉がパスタとよく絡んでおり、深みのある味わいのポロネーゼを楽しめる。4.メインダイニングとして、朝食～ディナーまで幅広い食事にも対応してくれる。5.レストラン内にはバーカウンターもあり、お洒落なカクテルを提供してくれる。6.ザ・ラウンジオンザウォーターにはビリヤード台も設けられており、大人の遊び心を感じずにはいられない。



1.カウンター席の前には鉄板が広がり、シェフの調理を目の前で見る事ができる。2.厳選された食材を繊細かつ華麗に焼き上げるシェフの腕も一流だ。3.落ち着いた雰囲気ですステーキや鉄板焼きを楽しませてくれる。4.九州産黒毛和牛赤身ステーキは柔らかい肉質で、赤身の旨味を存分に味わえる。5.シャリの上に乗った肉厚なフォアグラは口溶けも良く、熊本赤酒のソースとも絶妙の相性をみせる。



### 鉄板焼 ステーキハウスミディアムレア

続いて紹介するレストランは「鉄板焼 ステーキハウス ミディアムレア」。ここは地元食材そのものの持ち味を生かした和の鉄板焼きを味わうことができる。お勧めの「ミディアムレアコース」では熊本赤酒のソースをかけたフォアグラのお寿司や九州産黒毛和牛赤身ステーキを楽しめる。肉厚のフォアグラがしゃりの上に乗ったフォアグラのお寿司は、深みのある味はもちろんのこと、見た目でも楽しませてくれる一品だ。ステーキは柔らかく、口に含むと一気に肉汁が溢れ出てくる。また、シェフが華麗な手さばぎで食材を焼き上げていく様子は見ているだけでも食欲をそそられる。

### ボート所有で実現する贅沢な休日の過ごし方

「ザ・ルイガンズ スパ & リゾート」は海の中道マリーナにボートを係留することで、ボートでのアクセスが可能リゾートホテルだ。もちろん、クルマでのアクセスも良好だが、今回はボートで訪れることをお勧めしたい。マイボートで海に出て、博多湾を周遊するだけでも、忙しい日常を忘れて非日常の時間を楽しめるだろう。ボートがあれば、地上からは決して見ることのできない絶景を家族や大切な仲間と共有できるのだ。自らの操船で博多湾を航行し、ワンランク上のリゾートホテルで食事を楽しむ、こんな贅沢で夢のある遊びは他にないだろう。

海の楽しさを無限に感じられる贅沢な一艇

## 友山副社長も確信した PONAM-28Vの実力

PONAM-28Vには最新テクノロジーを駆使した1軸TVAS(トヨタバーチャルアンカーシステム)をはじめ、上質な乗り心地を楽しめるトヨタハイブリッドハル、最先端の自動車デザイン技術が用いられたキャビンが備わっており、フィッシング〜クルージングまで幅広くマリンプレイを楽しめる。そんなPONAM-28Vにトヨタのマリン事業を牽引する友山副社長自らが乗船。瀬戸内の海でボートの持つポテンシャルを再確認しつつ、良型の真鯛を狙った。

### 快適な乗り心地

PONAM-28Vの走行性能を紹介する上で、欠かせないのが船体に採用されているトヨタハイブリッドハルである。3種類(FRP、アルミ材、カーボン繊維)の構造部材を複合し、開発されたこのハルは従来のアルミハルに比べ、同等以上の剛性感、凌波性、軽量化を達成しており、快適な乗り心地を実現している。揺れに強く、波切も抜群で、ポイントまでの移動はとてもスムーズだ。また、走行中は静粛性も高く、キャビンでは瀬戸内の海で真鯛を釣るためのコツを現地ガイドと会話しながら、入念に確認する友山副社長の姿があった。その姿からは釣りに対する「情熱」を大いに感じることができた。

### キャビンで弾む会話

流線形を基調にデザインされたキャビンでは、エレガントな空間が演出されており、クルージングの際には非日常を体感できる場所となる。高い除湿機能を搭載したマリンエアコンも装備しており、年中快適なマリンライフを過ごすことが可能だ。また、釣りの後は仲間が集うサロンとしても活用でき、当日の思い出や釣果を話しながら、盛り上がることのできる空間になっている。

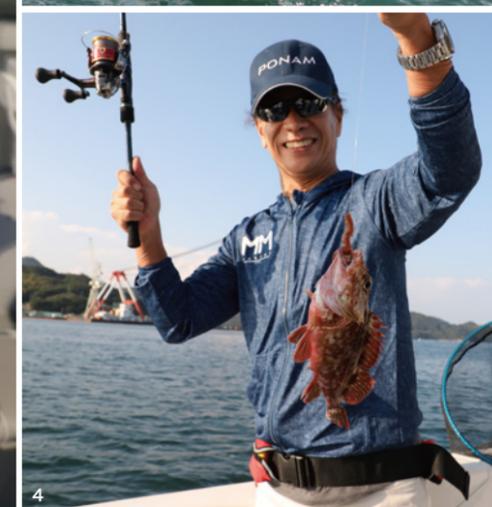
### 魚群の上で好位置をキープ

ポイントに到着し、GPS魚探をチェックすると、ボートの真下には大きな魚影の反応が無数に出ていた。ここはすかさず、1軸TVASのバーチャルアンカーモードを起動し、ポイントの上にボートを固定。ピンポイントで魚にアクションをかける。すると、開始5分も経過しないうちに竿がしなり、良型の真鯛があがってきた。こんなに簡単に真鯛が釣れてしまうのかと、誰もが呆気に取られた瞬間であった。

### 満足度の高い一艇

洗練されたデザインのキャビンと最新テクノロジーが融合したことで、PONAM-28Vは快適に釣りやクルージングを楽しめるモデルとなっており、その高いポテンシャルは今回実際に海に出て釣りを楽しまれた友山副社長にも十分伝わったようだ。これだけ贅沢な機能があれば、オーナー達の海遊びの幅もきっと広がり、無限に海の楽しさを伝えてくれるに違いない。

PONAM-28V



1.1軸TVASを起動し、釣りを始めると、5分もしないうちにターゲットの真鯛を釣ることができた。やはり釣りは「魚のいる場所に的確に仕掛けを落とす。」これが一番効果的なのだ。2.ポイントへの移動中、マリンスタッフとPONAM-28Vの乗り味や1軸TVASについて、真剣な表情で意見交換を行う友山副社長。3.狙っていた真鯛が水面から顔を出した。誰もが早過ぎる釣果に驚きの声をあげていた。4.根掛かりしないよう海底を慎重に攻め、見事カサゴを釣り上げた。5.出航場所となった「ペラビスタマリーナ」。美しく自然豊かな海を拠点に、瀬戸内の島々を巡るクルーズや豊富な魚影に恵まれた海域でのボートフィッシングを楽しめるリゾート型のマリーナだ。6.現地インストラクターの村上さんから、瀬戸内での真鯛の釣り方のコツを確認する友山副社長。道中は釣り談義で盛り上がっていた。

走行安定性の高い走りでも瀬戸内の海を疾走するPONAM-28V。

## 7代目アングラーズアイドル橘みづほさん参戦!!

# 親子で楽しむボートフィッシング PONAM-28Vで 夕飯のおかずを釣りに行こう!!

豊富な魚影に恵まれた愛知県の伊良湖水道周辺では秋から冬にかけて、  
大型の青物、真鯛、太刀魚などがよく釣れ、週末ともなると海上は多くのボートで賑わう。  
今回は日頃から釣りをするのが趣味という小学生の西田航太郎君とお父さんの西田健一さん、  
そして、サポート役として、人気釣りガールの橘みづほさんに参加してもらい、  
旬の魚が集まる伊良湖水道を目指した。



狙っていた太刀魚を3人連続でヒット。  
魚を持つ3人の表情はとても満足げだ。



早朝ラグナマリーナを出発し、PONAM-28Vで伊良湖水道を目指した。



1. 親子で釣りに挑戦してくれた西田健一さん(右)と長男の西田航太郎君(真ん中)。今回は助っ人で橘みづほさんも参戦。2. キャビン内は静粛性も高く、エアコンも抜群に効いているのでとても暖かい。夏や冬には欠かせない装備だ。



### 釣りは親子共通の趣味

早朝マリーナにやって来た西田さん親子にお話を伺うと、最近は休日によく家族で釣りに出かけているとのこと。今回はファミリーフィッシングにも最適な「PONAM-28V」に乗って、釣りができることあって、航太郎君は前日から今日の釣りを楽しみにしていたという。最近では魚を釣るだけでなく、捌くことにも興味があり、釣った魚はお父さんと一緒にキッチンで捌いて料理も楽しんでいるそうだ。早速、今日の意気込みを聞くと、沢山魚を釣って、美味しい料理をいっぱい食べたいと、愛嬌のある笑顔で話してくれた。

### 釣りをサポートするTVAS

マリーナから1時間程走ったところでポイントに到着。週末ということもあり、ポイントの周りには既に船団ができていた。こうした状況で自船の位置に気を配りながら釣りをするのは船長にとっては大きな負担となるが、PONAM-28VにはTVAS(トヨタバーチャルアンカーシステム)が付いているので安心だ。今回は両舷から釣りができるように、バーチャルコンパスモードを起動し、船首を向きたい方向に固定し、流したい方向と速度を設定した。あとは周囲の安全確認さえしていれば、船団の中でもスムーズに両舷から釣りができるのである。



航太郎君も電動リールを巧みに使いこなし、魚に誘いをかけていた。



PONAM-28Vに搭載された1軸TVAS。操作も簡単で、ボタン一つで船体の位置をコントロールできる優れものだ。



橘さんが大型のワラサをヒット。強烈な引きを楽しみながら、この日最大となる1本を釣り上げた。



この日釣り上げた魚を並べて記念撮影。これだけ釣れば立派な釣果と言えそうだ。



1.この日最初にヒットしたのはサゴシ。これで船内は一気に活気づいた。2.両舷に分かれて釣りを楽しむ3人。橘さんは真剣な表情で魚に誘いをかける。お父さんは片手で仕掛けを落とすつつも、航太郎君のことが気になる様子。

### 好釣果を記録

ポイントについてしばらく釣りをしていると、橘さんの竿がしなる。1本目ということで、慎重に巻き上げると良型のサゴシが上がってきた。まずは、幸先よくサゴシが釣れたことで、船内の雰囲気も軽くなり、立て続けにハマチやカサゴも釣れた。その後、太刀魚が良く釣れているポイントに移動し、3人で太刀魚を狙って釣りを始めると、またしても橘さんの竿がヒットし、狙い通り太刀魚を釣り上げることに成功。すると、反対の左舷側で航太郎君の竿にもアタリが！ ゆっくりとボートまで魚を寄せてくると、キラキラとシルバーに光る魚影が見え、航太郎君も見事に太刀魚をゲット。とっても晴れやかな笑みでこちらに笑いかけると、なんと後ろでお父さんもヒット。2人に続けとばかりに、良型の太刀魚を釣り上げた。結果的には5分間で3人もが釣り上げるという、素晴らしい釣果となった。そして、最後には橘さんが大きなワラサをヒットさせ、ワラサの強烈な引きに必死に耐えながら、渾身の1本を釣り上げてくれたのだ。これだけ食材が揃えば、料理するには十分ということで、釣りはここまでとし、マリーナに帰港することにした。

### マリーナで調理開始

マリーナに帰ると、早速料理をはじめ。橘さんは太刀魚とカサゴを、航太郎君とお父さんがサゴシ、ハマチ、ワラサを担当することに。橘さんは魚を捌くのが得意ようで、手つきはとても手慣れていて。手際よく太刀魚を捌いたかと思うと、カサゴの処理も本当にスムーズで、あっという間にカサゴと太刀魚で煮付けを作ってくれた。そして、航太郎君の方を見ると、ハマチを丁寧に捌いており、大人でもこれだけ捌けたら十分なくらいの腕前で、身を余すことなく綺麗に捌いてくれた。そして、最後はお父さんの登場。ワラサを豪快に捌く手つきには一切無駄が無く、短時間であっという間にワラサを三枚におろしてくれた。お父さんの手つきを見ていれば、航太郎君がここまで包丁の扱いが上手になる理由も分かる気がした。最後は航太郎君が丁寧に刺身を切りそろえ、皿に盛り付けて、3種の刺身盛り合わせが完成した。また、橘さんも加わり、3人で特製の海鮮丼作りもスタート。こちらは航太郎君が切り揃えたサゴシ、ハマチ、ワラサの刺身を贅沢に乗せて、中央に卵黄を、その周りに海苔と大葉をトッピングして彩り鮮やかな海鮮丼を作ってくれた。



### 釣った魚は美味しく食べる

調理が済んだら、いよいよ食事の時間だ。まずは刺身を贅沢に使った海鮮丼から食べてみる。脂の乗ったワラサとハマチは本当に新鮮で、当然臭みもなく素材の味を堪能できた。サゴシは刺身にすると、口の中でずっと溶けるような食感で、こちらも脂が乗っており、絶品だった。3種類の刺身は盛り合わせの皿にも並べられており、釣りたての新鮮さを感じながら、好きなだけ味わうことができた。航太郎君も自分で捌いた魚を美味しく食べており、嬉しそうな笑顔がとても印象的だった。そして、甘辛く煮付けられたカサゴと太刀魚は下処理も丁寧に行われていて、身にはしっかりと煮汁が染みており、柔らかい身の太刀魚を煮汁に付けて食べるとさらに美味しかった。やはり釣った魚を自分で捌いて食べるというのは、買って食べた時、お店に食べに行ったりするよりも何倍も満足感を感じながら食べることができるのだ。



1.太刀魚を持って笑顔の橘さん。このあと、手際よく身を捌いて煮付けを作ってくれた。2.丁寧にカサゴの下処理をする橘さん。こうすることで、煮付けた時に臭みがなくなる。3.航太郎君は小学生とは思えない包丁さばきで、見事に魚を捌いていた。手際の良さはお父さん譲りだ。4.西田さんは巧みな包丁さばきでワラサを三枚におろしてくれた。5.サゴシ、ハマチ、ワラサの刺身を使った特製の海鮮丼。中央の卵黄を絡めて食べるとまろやかな味わいとなる。6.大皿に乗った3種の刺身盛り合わせ。航太郎君が綺麗に捌いて、皿に盛り付けてくれた。7.太刀魚とカサゴの煮付けは甘辛く仕上げた煮汁が身と上手く絡んでおり、こちらも絶品だった。8.料理が完成したら、みんなでテーブルを囲み、当日の思い出話で盛り上がりながら食事を楽しんだ。

## ▶ MIKAWAMITO MARINA

免許取得～スキルアップまで徹底したフォロー体制

充実設備のマリーナで  
「ボートのある休日」を提案

三河湾を拠点に、クルージング、ボートフィッシングなど様々なマリレジャーを提案。レストラン、ジャグジー、メンバー専用宿泊施設も備っており、滞在にも対応可能な大型マリーナ。

## 1993年10月開業

三河みとマリーナが開業したのは1993年10月。広大な面積に建てられたマリーナは当時からクラブハウス、レストラン、ロッジ、修理工場、給油所を完備しており、日本でも屈指の規模を誇っていた。マリーナでは開業当初からプレジャーボートやヨットを通じて、マリンスポーツの魅力を提案しており、企業向けのマリクラブも運営されていた。また、クラシカルなテイストで仕上げられたオーナーズルームには、歴代のオーナー達が獲得してきた様々なトロフィーや当時の写真が思い出の品として、大切に飾られている。

## 三河湾の魅力とは

マリーナが位置する三河湾には日間賀島、佐久島、篠島、といった観光を楽しめる様々な

島が点在しており、ボートやヨットで気軽に行ける距離感ということもあり、マリーナでも人気のクルージングコースになっている。こうした島ではホテルや民宿、更には料理店などが近海で獲れた旬の海鮮料理を提供しており、週末は島を訪れる人達で賑わいをみせている。また、鳥羽、五ヶ所湾、大王エリアへのロングクルージングの拠点としても最適な立地にあり、泊まりや日帰りのクルージングを楽しむ人も多い。釣りに関しても、マリーナ近海ではキス、シーバス、クロダイといった魚を狙うことができ、魚影にも恵まれていると言えるだろう。

マリーナステイも可能な  
充実した施設

マリーナには大型艇も揚降可能な50tのトラベリフトや大型サービス工場も完備されており、オーナー艇をしっかりと自社でメンテナ

ンスするだけの設備が整っている。こうした設備を軸にマリーナではフィッシングポート～大型艇まで幅広いタイプのボートを艇置している。また、敷地内にはメンバー専用宿泊施設があり、用途や人数に応じて6名が宿泊可能なグループルームやツインルームを選択することができる。更に、リフレッシュルームにはサウナ・シャワー・ジャグジーが完備されており、海から戻った体を芯から温めてくれる。こうした設備が整った環境で、数日間マリーナステイをしながら海遊びを楽しむことができるのも、この魅力の一つと言えるだろう。



マリーナには充実した設備が整っており、陸上ヤードにはタイプの異なる様々なボートが艇置されている。



## 初心者も徹底サポート

三河みとマリーナには「マリンライフプログラム」という制度があり、ボート免許取得から安全に楽しく海遊びをマスターするための総合プログラム(最長2年)となっており、はじめて海の世界に飛び込む人でもしっかりとスキルアップを目指すことが可能だ。このプログラムではレンタルボート制度の他にも、毎月開催されるマリンイベントに会員価格で参加したり、宿泊ロッジなどのマリーナ施設も利用できるのだ。とりえず、ボートを買う前に海を楽しみながらスキルアップしてみたい方にはピッタリの制度と言えるだろう。また、「海活」と称して、誰もが気軽に楽しめる海遊びをインスタグラムやフェイスブックなどで、積極的に情報発信を行なっている。こうした活動ではいきなりボート購入や船舶免許の取得を提案するのではなく、SUPやクルージングなどを通じて、まずは一人でも多くの人にマリーナに足を運んでもらい、海の楽しさを感じてもらおうのが狙いとなっている。

マリーナが考える  
ポーナムの魅力とは

今回お話を伺ったマリーナスタッフの岩瀬さんに、マリーナの視点から見たポーナムシリーズの魅力に関していくつか尋ねると、とて

もポジティブな回答が返ってきた。最初に、1番の魅力は？と聞くと、「まず、良いと思ったのはTVAS(トヨタバーチャルアンカーシステム)ですね。これがあれば一人でも気軽に釣りに行けて、アンカーを打たずに定点維持もできるので、凄く便利な機能だと思います。あと、マリーナに入ってから着岸の際にロープやフェンダーを準備する間、位置をキープできるのも便利です。」と1番の魅力にはTVASを挙げてくれた。続いて走行面に関して伺うと、「トヨタハイブリッドハルはアルミハルと遜色なくらい乗り心地が良いです。もともとポーナムはクセが無いですし、波当たりも良いので、とても走りやすいボートですよ。ポーナムなら、三河湾から鳥羽などのロングクルージングも十分楽しめると思います。」とハイブリッドハルやアルミハルを採用したポーナムシリーズの乗り味を褒める言葉を頂けた。最後に、キャビンについて伺うと、「とてもお洒落なデザインですね。キャビンも広いので、大人数でも利用できると思います。また、清潔感のあるトイレやエアコンも付いているので、女性や子供、更には大切なゲストを呼んでも喜ばれるでしょうね。」とキャビンの機能性やデザインについても高評価を得ているようだった。今回取材に訪れた三河みとマリーナは国内外の様々なメーカーのボートを多数販売しており、日頃から販売に精通したプロの視点からみても、ポーナムシリーズが高い評価を得ていることが分かった。

1.企業マークの入った壁が目印のレストラン棟は吹き抜けになっており、心地よい風が流れる。 2.イタリアンレストラン「ブルーモーメント」は一般向けに開放もされており、ランチタイムには大きな賑わいを見せる。 3.クラブハウスは開放感もあって居心地の良い空間になっている。 4.クラブハウス2Fのオーナーズサロンにはクラシカルな雰囲気も漂っており、歴代オーナーのトロフィーや写真が飾られている。 5.リフレッシュルームにはシャワー、ジャグジー、サウナがあり、汗を流した後は心身ともにリフレッシュできる。 6.メンバー専用宿泊施設はツインルームやグループルームを完備しており、用途に応じて選択可能となっている。



マリーナスタッフの岩瀬大輔さん。勤務歴15年の経験豊富なスタッフとして、マリーナ業務を幅広くこなしており、オーナーからの信頼も厚い。

PREMIUM SPORT CRUISER



# PONAM-28V



「プレミアムスポーツクルーザー」として開発された「PONAM-28V」はFRP、アルミ材、カーボン繊維の3種類をバランス良く使用したトヨタハイブリッドハルを採用しており、従来のアルミハルに比べ、同等以上の剛性感と凌波性を実現、船体重量の軽量化にも成功した。そして、1基掛けエンジンでは世界初となる1軸TVASを開発し、シリーズ初となる28ftクラスに設定した。エンジンはランドクルーザープラド(海外向け)のエンジンを船舶用にチューニングし、自動車ですべての技術を応用して、業界最高レベルの除湿機能付きマリンエアコンを搭載している。船体のデザインはカーデザインで採用されている複雑な3D曲面により、立体的なフォルムと曲線美を追求し、美しいデザインに仕上がっている。

全長/全幅	9.14m/3.16m
総トン数	3.8トン
エンジン型式(ディーゼル)	M1KD-VH
排気量	2,982cc × 1基
最高出力	191kW(260PS) × 1基
使用燃料	軽油
ハル	トヨタ ハイブリッドハル
燃料タンク容量	330リットル
清水タンク容量	56リットル
定員	12名
航行区域	平水、限定沿海、沿岸
本体メーカー 希望小売価格(税抜)	Sグレード 16,800,000円 Xグレード 22,000,000円



PREMIUM CRUISER



# PONAM-35sw

PONAM-35は外洋でのトロリングなど走る喜びを味わうアクティブ・クルージングから、季節の香りを五感に感じながら、ご家族やご友人、女性にも喜ばれるラグジュアリーで優雅なクルージングまで楽しめるモデルである。一步サロンに入ると、スタイリッシュな空間から非日常で贅沢な時間を感じる事が可能で、開放感ある空間で思い思いの上質な時間を過ごす事が出来る。また、キャビン奥に配置されたギャレーはシンク、電子レンジ、調理スペースの他に大容量冷凍・冷蔵庫が設置されており、ポートステイも十分楽しめそうだ。テクノロジーの面においても、従来のトヨタドライブアシストにバーチャルアンカーシステムを追加し、トヨタマリン独自の操船支援システムを充実させている。



全長/全幅	11.95m/3.94m
総トン数	10トン
エンジン型式(ディーゼル)	M1VD-VH
排気量	4,461cc × 2基
最高出力	272kW(370PS) × 2基
使用燃料	軽油
ハル	アルミ合金製
燃料タンク容量	850リットル
清水タンク容量	170リットル
定員	12名
フライブリッジ	5名
航行区域	沿海
ヘルムステーション	1
インテリアカラー	木目調
本体メーカー 希望小売価格(税抜)	65,100,000円



SPORT UTILITY CRUISER



# PONAM-31

海における「Fun to Drive」。PONAM-31はこの言葉通り、「スピード」「乗り心地」「居住性」の全てにこだわり抜いた、「走りの楽しさ」を体感出来るボートだ。抜群のスピードがありながら安定した走行性は、海との一体感を味わえ、スポーティーな走りを十分に楽しめる。また、クルージングやフィッシングなどのアクティビティだけでなく、機能的で開放感のあるキャビンではラグジュアリーで快適な時間を過ごす事も可能だ。他にもオプションでトヨタドライブアシストやトヨタバーチャルアンカーシステムを装着可能で、これによって飛躍的に操船の負担も減り、レジャーを楽しむ時間が増えそうだ。まさにスポーツユティリティクルーザーの名に相応しい新しい可能性を秘めた1艇と言える。



全長/全幅	10.57m/3.20m
総トン数	6.6トン
エンジン型式(ディーゼル)	M1KD-VH
排気量	2,982cc × 2基
最高出力	191kW(260PS) × 2基
使用燃料	軽油
ハル	アルミ合金製
燃料タンク容量	620リットル
清水タンク容量	110リットル
定員	12名
フライブリッジ	5名
航行区域	沿海
本体メーカー 希望小売価格(税抜)	29,700,000円



# 中古艇をお探しなら、 安心のトヨタ認定中古艇



安心1  
**検査**  
Inspection

安心2  
**整備**  
Maintenance

安心3  
**保証**  
Warranty

トヨタマリン営業所直販のトヨタポーターシリーズを対象とし、  
トヨタ独自の厳しい品質基準をクリアした中古艇のみご紹介いたします。



※画像はイメージです

## トヨタ認定中古艇の3つの安心。



### 安心1 検査 Inspection

#### 厳しい目で徹底的にチェック

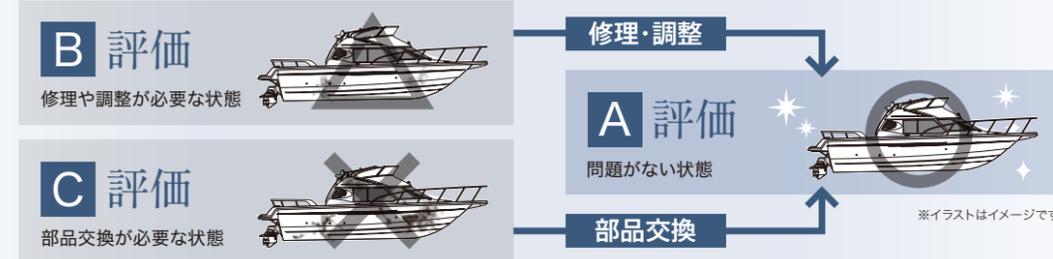
機関系、電気系、給排水系、艀装品など約100項目を、トヨタマリン営業所の熟練スタッフが厳しくチェックいたします。



### 安心2 整備 Maintenance

#### 中古艇だからこそ、しっかり整備

チェック項目で、「B」評価、「C」評価の箇所について、「A」評価の「問題なし」の状態にまで整備いたします。



### 安心3 保証 Warranty

#### 購入後の安心はトヨタマリンの強み

トヨタマリン営業所直販のポーター中古艇には**ポーターメーカーによる品質保証**をお付けしております。  
購入後も安心のマリンライフをサポートいたします。

保証条件	保証期間	保証内容※
新艇納艇後から <b>5年未満</b> かつ アワーメーター <b>750時間未満</b>	お客様引渡日 または ①アワーメーター100時間	6ヶ月 標準装備 及び 中古艇販売時に 施工した装備品を 無償修理・ 部品交換
新艇納艇後から <b>7年未満</b> かつ アワーメーター <b>1,000時間未満</b>	お客様引渡日 または ①アワーメーター50時間	3ヶ月

※詳しい保証内容は、トヨタマリン営業所までお問い合わせください。

#### トヨタ認定中古艇をご検討中のお客様へ

不安に思う事や、不明点などありましたら、お気軽に右記までお問い合わせください。スタッフが丁寧に为您解答いたします。

トヨタマリン営業所

**0120-532-451**

営業時間 9:45~17:30  
(定休日:水・木曜日)  
〒443-0014 愛知県蒲郡市海陽町2-1

トヨタマリンホームページ <http://www.toyota.co.jp/marine/>

# EDITOR'S VOICE >

「Ocean Style」第8号を発行させていただきます。今回は、今秋に米国で世界初披露されるレクサスポート「LY650」の概要をご紹介します。レクサスが提案するラグジュアリーな世界感をご覧ください。

一方、日本各地の海で、ポーナムがご提案する釣りやグルメ等、様々なマリンレジャーのカタチを、今回も数多くご紹介しております。ポーナムが演出する「コト」の拡散に、「Ocean Style」が少しでもお役にたてれば幸いです。

それでは、3月のポートショーでお会いできますことを楽しみにして、ペンを置かせていただきます。

編集長 池淵 弘  
2019年2月



## 発行人

トヨタ自動車株式会社

## 編集長

池淵 弘 (マリン事業室)

## フォトグラファー

福地和男 / 矢部洋一 /  
石川三紘 / 石川雄基

## ライター

中田雅博 / 石川雄基 / 神谷 仁

## デザイン・レイアウト

野口浩司 / 加藤憲明

## 企画・製作

M's PLANNING inc.

## 取材協力

P14-17 自動車販売会社の会長が提案する  
PONAM-35swの活用法

▶ 神戸トヨペット株式会社  
兵庫県神戸市兵庫区水木通2丁目1番1号  
TEL.078-576-5006  
<http://www.kobetoyopet.com>

▶ 株式会社マリーナジャパン 芦屋マリーナ  
兵庫県芦屋市海洋町11番1号  
TEL.0797-35-6662  
<http://ashiya.marinajapan.jp>

P18-23 海の中道にあるリゾートホテルへの旅

▶ 株式会社ササキコーポレーション  
西福岡マリーナマリノア  
福岡県福岡市西区小戸2丁目11-1  
TEL.092-885-2288  
<http://sasakicorp.jp/nfmarinoa/>

▶ 株式会社ササキコーポレーション  
海の中道マリーナ&テニス  
福岡県福岡市東区西戸崎18-25  
TEL.092-603-2221  
<http://sasakicorp.jp/uminaka/>

▶ 株式会社Plan・Do・See  
ザ・ルイガンズ、スパ & リゾート  
福岡県福岡市東区西戸崎18-25  
TEL.092-603-2525  
<http://www.luigans.com>

P24-25 友山副社長も確信した  
PONAM-28Vの実力

▶ ツネイシLR株式会社  
ベラビスタマリーナ  
広島県尾道市浦崎町1364-6  
TEL.084-987-3460  
<http://www.bellavista-marina.jp>

P26-29 親子で楽しむポートフィッシング

▶ 株式会社ラグナマリーナ  
愛知県蒲郡市海陽町2丁目1番地  
TEL.0533-58-2950  
<http://www.lagunamarina.co.jp>

P30-31 マリーナ探訪

▶ 株式会社ユニマツプレシャス  
三河みとマリーナ  
愛知県豊川市御津町御幸浜1-1-21  
TEL.0533-76-3100  
<http://www.mikawamito-marina.com/>



**muta**  
M A R I N E  


uno stile senza compromessi  
per una vita piu' bella e creativa

**switch**

[www.muta-japan.com](http://www.muta-japan.com)

[muta TOKYO JAPAN] 03-6721-0348 / [muta MARINE TOKYO] 03-5770-4498 / [muta MARINE rinka] 0569-88-1291 / [muta MARINE FUKUOKA] 092-752-0018 /  
[muta MARINE OKINAWA] 098-988-7088 / [muta MARINE OSAKA] 06-6484-6134 / [muta MARINE cuore] 076-264-8334 / [muta MARINE GOLF] 052-264-2798 /  
[muta PALAZZO] 03-5220-4498 / [muta Salone] 052-265-8852 / [muta moda] 052-777-7373 / [muta FUKUOKA] 092-723-0018 / [muta cuore] 076-264-8881 /  
[muta Fondo] 052-433-2318 / [muta KOBE] 078-232-3988

2019年7月PONAM-35新艇入荷予定!!



PONAM-35  
35ft 艇置料 ¥600,000 (税別)



PONAM-31  
31ft 艇置料(船台込み) ¥530,000 (税別)



PONAM-28v  
28ft 艇置料(船台込み) ¥450,000 (税別)



Targa25.1  
25ft 艇置料(船台込み) ¥380,000 (税別)



MARINE JET  
1~3人乗り 艇置料(船台込み) ¥120,000 (税別)

# 新規陸上艇置艇募集!!

## 陸上艇置~31ftまで船台込み

※船底が特殊な船舶(ヨット含む)は別途となります。

1クラス上のマリンライフをお約束いたします…

### 陸上艇置料金 単位:円(税抜)

フィート	艇置料	揚降料/回	フィート	艇置料	揚降料/回
~19	¥250,000	¥8,000	40~42	¥1,000,000	¥20,000
20~23	¥310,000	¥8,000	43~46	¥1,150,000	¥25,000
24~26	¥380,000	¥8,000	47~49	¥1,250,000	¥30,000
27~29	¥450,000	¥9,000	50	¥1,450,000	¥35,000
30~32	¥530,000	¥12,000	51	¥1,500,000	¥35,000
33~36	¥600,000	¥15,000	52	¥1,550,000	¥35,000
37~39	¥700,000	¥18,000	53	¥1,600,000	¥35,000

- 初回ご入金時に契約手数料(50,000円税抜き)、保証金(艇置料金の約3ヶ月分)が必要となります。
- 年間揚降契約・その他オプション契約については、別途ご相談ください。

### PWC艇置料金 単位:円(税抜)

#### 正規契約

定員	艇置料	揚降料 回/年間
一律(1~4人乗り)	¥120,000	¥4,000/ ¥40,000

- PWCのみの艇置ご契約は別途下記の料金が必要となります。
- ※1 初回事務手数料 30,000円
- ※2 保証金 艇置料金の3ヶ月分
- ※3 用役使用料 10,000円/年

#### 期間艇置

¥60,000/3ヶ月  
(事務手数料・用役使用料込)

- 期間艇置のお申込みは3ヶ月から承ります。
- プラス3ヶ月まで艇置延長、承ります。
- 10,000円/月
- テンドャーボートを艇置の場合はPWCの料金体系を適用いたします。

# NTP MARINE SERVICE & MARINA

あなたのニーズをかなえる、テクニカルメニュー

マリンファンのあらゆるニーズに  
応える2つのマリーナ

NTPマリンサービスセンターは、さまざまな艦装対応、船体修理を始め、オリジナルパーツからカスタマイズまで、  
高い技術力と内製体制でオーナー様のご要望にお応えします。



## 保管艇募集中!!

### 年間保管料の一例

例 りんくう 35フィートの場合 (税抜き)

年間保管料(陸上) ※特約付 807,500 円/年  
年間保管料(陸上:一般) 950,000 円/年

※船台料金別途。 ※陸上保管は実測長にて算出。 ※上記料金はあくまでも参考です。艦装によって変更あり。

◎上記以外に各入会諸経費が必要となりますので、詳しくはスタッフまでお気軽にお問い合わせ下さい。

例 たかはま 35フィートの場合 (税抜き)

年間保管料(海上:B棧橋) 660,000 円/年  
年間保管料(陸上) 17フィート 10,000 円/年

2 艦装

3 船体修理

1 エンジン  
制御系  
駆動系

NTP  
MARINE  
SERVICE  
CENTER

4 塗装  
コーティング

6 カスタマイズ

5 オリジナル  
パーツ作製



空から海へアクセスできる、新しいマリンライフの提案



NTP MARINA RINKU NTPマリーナりんくう

〒479-0882 愛知県常滑市りんくう町3-6-1 TEL:0569-35-7200  
www.ntp.co.jp/marina/rinku/

「家族と楽しむ海」がコンセプトのアットホームなマリーナ



NTP MARINA Takahama NTPマリーナ高浜

〒444-3255 愛知県岡崎市自木町1-1 TEL:0566-2-4333  
www.ntp.co.jp/marina/takahama/



# Play!

海の楽しさは、無限だ。

一人ひとりの海の楽しみ方に応えるための、テクノロジーとデザイン。

そのパフォーマンスを体感した時、

あなたの海の喜びはきっと広がっていく。

フィッシングにとどまらない、海を楽しみ尽くすための贅沢な一艇。

うれしい新価格で登場!!



Premium Sport Cruiser

PONAM-28V

※写真には撮影用小物、オプションパーツ等を含むことがあります。

■PONAM-28V Sグレード：本体価格(税抜) 16,800,000円～

詳しくは、お近くのトヨタボート販売店、  
またはフリーダイヤルへお問い合わせください。

トヨタ自動車株式会社 マリン事業室トヨタマリン営業所  
〒443-0014 愛知県蒲郡市海陽町2丁目1番地



0120-532-451

[www.toyota.co.jp/marine/](http://www.toyota.co.jp/marine/)

動画  
配信中

